

第1回住民代表者懇談会 議事要旨

日時：平成27年5月30日(土)午後4時00分

場所：利府町民交流館

I. 役員選出について

役員は次の方々に決まりました。

◎座長 須賀町内会長

○副座長 赤沼町内会長及び浜田町内会長

II. 今後の議題等について

1. 参加人数について

質問：代表者	今後、代表者の人数の追加などを流動的に考えて欲しい。議論を重ねていく中で人数を増やした方が良い場面が出て来ると考えられるがどうか。
回答：事務組合	今後、懇談会での議論が進んで行く中で、この件については、代表者の方々に相談させていただき対応してまいります。

2. スケジュール・懇談会の回数について

質問：代表者	代表者としてこの場に出席しているが、町内会の意思は総会の議決である。判断する場面が生じたときは、各町内会の住民集会を開く必要があるのでは、提示されたスケジュールの延長や懇談会の回数が増えるなど、流動的に進める考えで良いか。
回答：事務組合	今後、そのような必要性が生じたときは、お互いに相談しながら進めていきたいと考えております。

3. これまでの経緯について

質問：代表者	斎場の予定地は、浜田地区の丹波沢であり、浜田地区の住民がだめと言ったらだめであり、ハードルは高い。斎場が立つのは時間の問題とと思っている人がいるかもしれないがそうではない。これからが始まりである。 また住民説明会の際、単なる火葬場ではなくメモリアルホールのような総合施設として住民が潤うようにできないかという質問に対して、管理者は「地元の要請にはできるだけ応えるように、話し合いしていきましょう。」と回答したが、事務局はそうではないと言っており、認識に大きな違いがある。今後、懇談会の内容について、管理者との報告やその後の指示の内容がきちんと伝達されるか心配である。お互い議事録を取りながら進める必要がある。
回答：事務組合	地域の就労の場という話は確かにあった。それについてはメモリアルホールという意味ではなく、今後地元の方の就労の機会の確保などについてはぜひ検討したいとお答えした。また現在もそう思っております 不快施設をお願いすることの重大性は認識しております。

*メモリアルホールについて、浜田地区住民の認識と事務組合の認識に違いがある。

4. 懇談会への首長の参加について

質問：代表者	懇談会で事務局とでは話が進まないことがある。本日のように5人の首長が出席することはあるのか。
回答：事務組合	今後も繰り返し地域の方々と意見交換をさせていただき、必要に応じ5人の首長が出席したいと思っております。

5. 要望に対する回答について

質問：代表者	懇談会で意見・要望が上がった場合、全て事務局で回答できるのか。決定できる人が懇談会に参加するのか。
回答：事務組合	意見を基に具体の検討については今後進めて行きます。出された意見は持ち帰り協議し、回答いたします。懇談会の記録についても懇談会で確認いただいた後、公式なものとして扱います。

6. マスコミ、傍聴者、ホームページの公開について

質問：代表者	様々な意見が出やすくするため、今回はマスコミが入らない方がよい。その後は雰囲気を見ながらケースバイケースで行う方がよい。 塩釜地区消防事務組合のホームページに公開することで、話の内容がぶれないし、確認もできる。
質問：代表者	マスコミなど関係ない傍聴者は入らない方がよい。しかし、懇談会では代表者、事務局、首長が発言したものについては、町内会へ知らせる必要があることから、情報公開してほしい。
質問：代表者	会議を公開すると発言が委縮するので非公開に賛成。
回答：事務組合	次回の懇談会は非公開で行い、それ以降は代表者にお諮りし、必要に応じ公開してはどうでしょう。 ホームページには会議のまとめについて懇談会の代表者に確認していただいた後、公開いたします。

7. 次回懇談会の要望

質問：代表者	過去の地区説明会で出た要望等について、検討している内容を次回資料として出してもらえればと思う。
--------	---